

# 2020年度 第2四半期 連結決算概況

2020年 8月13日

株式会社 電通グループ

取締役 CFO

曾我 有信

\*本資料に含まれる数値、指標は、事業の実態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、財務諸表の数値とは異なる場合があることにご留意ください。用語の定義については、Appendicesをご参照ください。

# 決算のポイント

## ❖ COVID-19 に対する電通グループの対応

- 連結ベースでの年間コスト削減目標7%は順調に推移
- デジタル・ソリューションのビジネス機会に焦点を合わせ、2020年下期以降の緩やかなオーガニック成長の回復を計画

## ❖ 包括的な事業オペレーションと資本効率に関する見直しの開始および改革プランの加速

- 合理的なオペレーションによるコスト構造の改革
- バランスシートの効率改善と長期的な株主価値の最大化

## ❖ 2020年度上期のオーガニック成長率は▲8.9%

- 国内事業：上期のオーガニック成長率は▲4.6%。デジタル・ソリューションは二桁増
- 海外事業：上期のオーガニック成長率は▲12.0%

## ❖ 2020年度上期のオペレーティング・マージンは、12.9% (対前年同期 +270bps)

- 国内事業(▲10bps)：売上総利益の減少を販管費の削減でカバー
- 海外事業(+400bps)：昨年12月に発表した事業構造改革の進捗と、追加コスト削減により改善

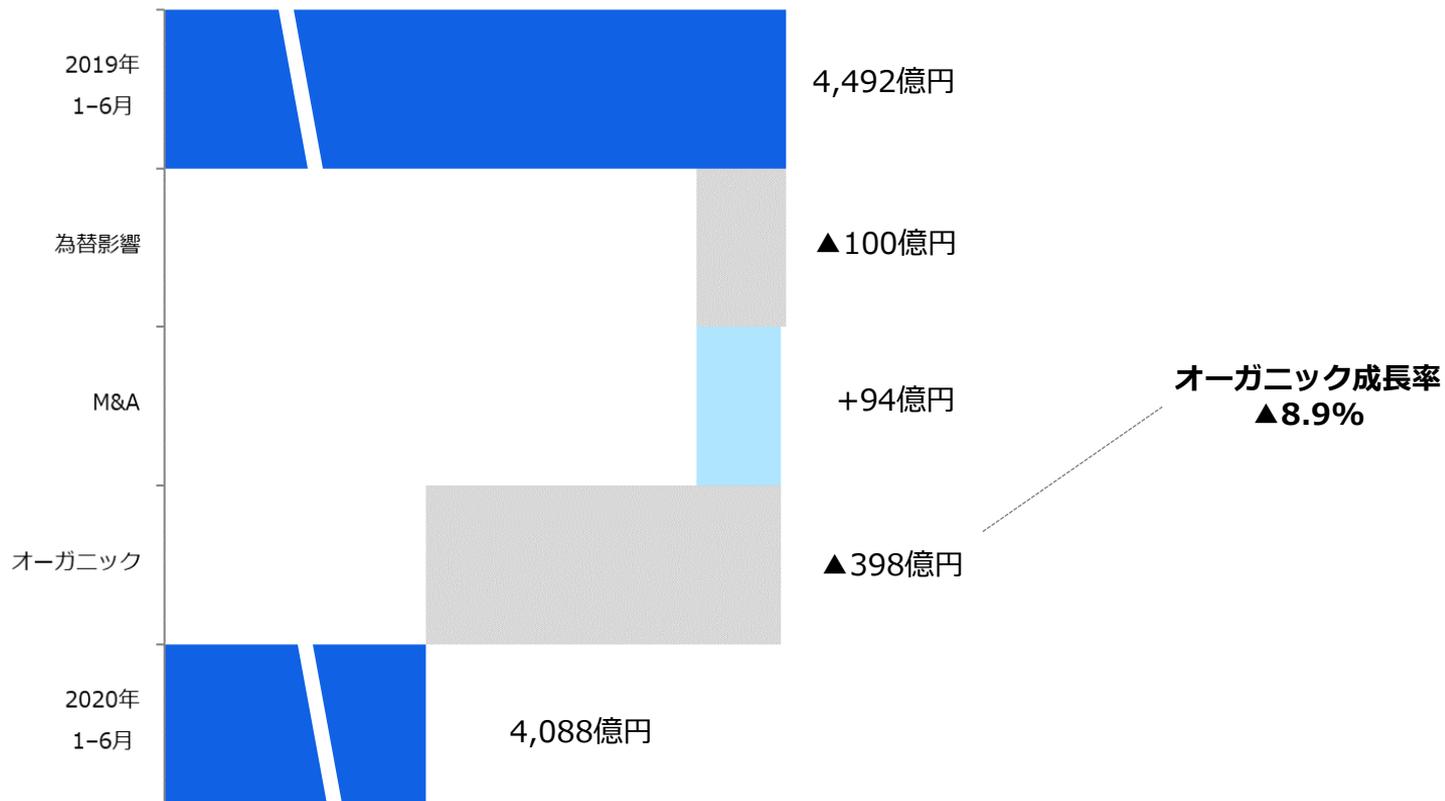
## 2020年度 第2四半期 連結決算ハイライト

	(百万円)			
	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期比 (%)	為替影響 排除ベース (%)
売上高	2,126,847	2,478,700	(14.2)	-
収益	459,082	497,068	(7.6)	-
売上総利益	408,868	449,242	(9.0)	(6.9)
デジタル領域構成比	52.7%	48.9%	+3.8	+3.6
海外事業構成比	56.4%	58.5%	(2.1)	(1.2)
調整後営業利益	52,747	46,007	+14.6	+14.7
オペレーティング・マージン	12.9%	10.2%	+2.7	+2.4
調整後当期利益	28,304	23,498	+20.5	-
基本的1株当たり調整後当期利益	102.01円	83.35円		
営業利益	28,745	19,086	+50.6	-
当期利益 (損失)	15,795	▲ 641	-	-
EBITDA	73,167	64,659	+13.2	-

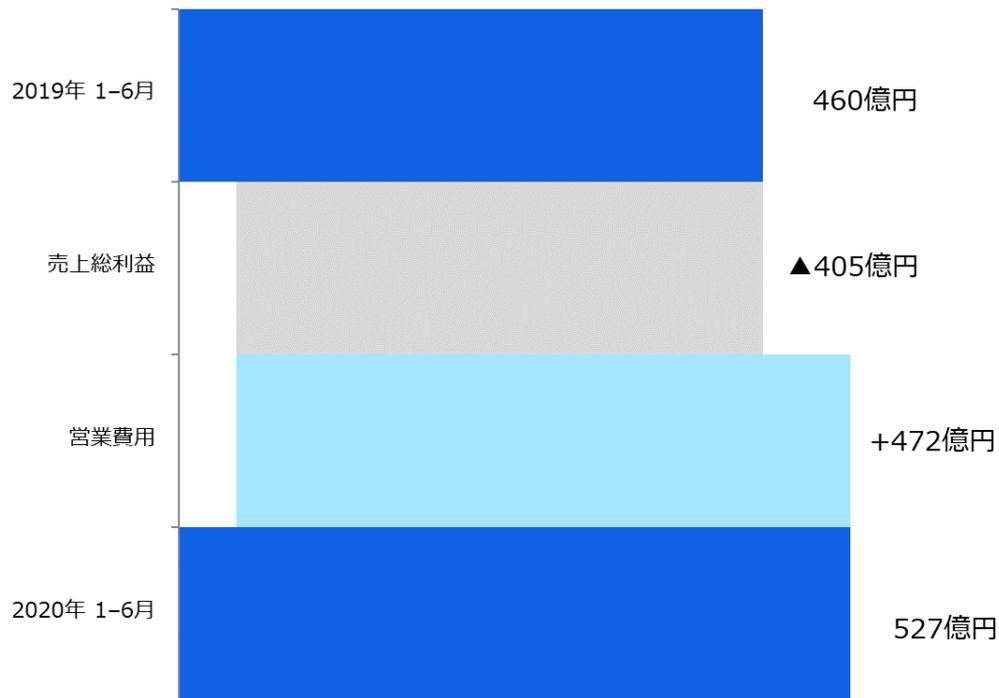
\*調整後当期利益・基本的1株当たり調整後当期利益・当期利益は、全て親会社所有者帰属分です。

\*前年数値は「考慮していない」という旨の記載のない限り、全てプロフォーマベース(賞与平準化後)の数値を使用しているため、開示済みの前年実績数値とは異なります。

## 売上総利益の増減要因



## 調整後営業利益 貢献分析



\*営業費用は販管費に加え、その他の収益及び費用を含みます。

## 国内事業

	(百万円)			
	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年 同期比 (%)	オーガニック 成長率(%)
(株)電通	99,562	109,252	(8.9)	(8.9)
電通国際情報サービス	19,163	16,232	+18.1	+18.1
電通デジタル	11,067	9,743	+13.6	+13.6
地域電通	9,162	11,258	(18.6)	(18.6)
CARTA HOLDINGS	9,909	9,923	(0.1)	(0.1)
電通テック	6,749	7,082	(4.7)	(4.7)
電通ライブ	5,969	4,958	+20.4	+20.4
その他・内部取引等	16,679	18,046	(7.6)	-
<b>売上総利益 (IFRS)</b>	<b>178,260</b>	<b>186,494</b>	<b>(4.4)</b>	<b>(4.6)</b>
デジタル領域構成比(%)	32.2	28.5		
<b>調整後営業利益 (IFRS)</b>	<b>38,078</b>	<b>40,108</b>	<b>(5.1)</b>	
オペレーティング・マージン (IFRS)	21.4%	21.5%	(0.1)	

\*各社の売上総利益はIFRSベースです。

\*前年の調整後営業利益およびオペレーティング・マージンは、2020年1月に持株会社を設立したことに伴い、2020年からは持株会社に計上されるグループ全社の活動に伴う付随する費用（セントラルコスト）に相当する2019年分を開示済みの実績数値から控除しています。

\*地域電通は100%子会社の電通東日本、電通西日本、電通九州、電通北海道の4社の合計です。

# 電通イージス・ネットワーク（海外事業）

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期比 (%)	為替影響 排除ベース (%)	(百万円) オーガニック 成長率 (%)
EMEA (欧州・中東・アフリカ)	84,394	98,227	(14.1)	(10.1)	(10.7)
Americas (米州)	107,709	113,566	(5.2)	(2.4)	(8.3)
APAC (アジア太平洋)	38,448	51,115	(24.8)	(21.0)	(23.1)
売上総利益 合計	230,547	262,909	(12.3)	(8.8)	(12.0)
デジタル領域構成比	68.5%	63.3%	+5.2	+4.3	
調整後営業利益（損失）	17,540	9,365	+87.3	+86.9	
オペレーティング・マージン	7.6%	3.6%	+4.0	+3.9	

<3つの事業ライン別オーガニック成長率>

メディア	(15.7)
クリエイティブ	(14.9)
CRM	(3.0)

# 営業利益調整項目

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期差	(百万円) 前年同期比 (%)
調整後営業利益	52,747	46,007	+6,739	+14.6
調整項目	▲24,001	▲26,921	+2,919	
買収に伴う無形資産の償却費	▲15,839	▲17,935	+2,095	
M&A関連コスト	▲699	▲654	▲45	
被買収会社に帰属する株式報酬費用	▲3,086	▲3,850	+764	
完全子会社化に伴い発行した株式報酬	▲369	-	▲369	
非経常的項目	▲4,008	▲4,482	+474	
事業構造改革費用	▲1,823	-	▲1,823	
減損損失	▲1,686	-	▲1,686	
その他	▲499	▲4,482	+3,983	
営業利益	28,745	19,086	+9,659	+50.6

## 営業利益以下の損益項目

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期差	(百万円) 前年同期比 (%)
営業利益	28,745	19,086	+ 9,659	+50.6
持分法による投資損益等	▲ 371	▲ 168	▲ 203	-
金融損益及び税金控除前利益	28,375	18,917	+ 9,458	+50.0
金融収益（費用）	3,755	▲ 15,213	+ 18,969	-
金融収益	15,048	4,912	+ 10,136	+206.4
金融費用	11,293	20,126	▲ 8,832	(43.9)
税引前利益	32,130	3,703	+ 28,427	+767.7
法人所得税費用	12,445	1,487	+ 10,957	+736.9
当期利益	19,685	2,215	+ 17,470	+788.7
親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）	15,795	▲ 641	+ 16,436	-
非支配持分に帰属する当期利益	3,890	2,856	+ 1,033	+36.2

# 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期差
調整後営業利益	52,747	44,997	+ 7,750
事業構造改革費用の支出額	▲ 6,283	-	▲ 6,283
非現金支出費用等の調整(*1)	17,767	11,405	+ 6,362
運転資本変動前の純営業活動によるキャッシュ・フロー(*1)	64,233	56,403	+ 7,830
運転資本の増減	▲ 64,635	▲ 62,314	▲ 2,321
純営業活動によるキャッシュ・フロー(*1)	▲ 403	▲ 5,911	5,508
利息の純額	▲ 8,001	▲ 7,408	▲ 593
配当金の受取額	2,006	2,094	▲ 88
法人所得税の支払額	▲ 15,187	▲ 44,145	+ 28,958
営業活動によるキャッシュ・フロー(*1)	▲ 21,584	▲ 55,370	+ 33,786

\*前年数値はプロフォーマの数値を使用していません。

(\*1) IFRS第16号に基づく減価償却費調整分を含めていません。

# 連結キャッシュフロー計算書

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	(百万円) 前年同期差
営業活動によるキャッシュ・フロー(*1)	▲ 21,584	▲ 55,370	+ 33,786
固定資産の取得・売却の純額	▲ 9,795	▲ 14,121	+ 4,326
子会社の取得・売却の純額	▲ 8,655	▲ 10,249	+ 1,594
非支配持分株主からの子会社持分取得・売却の純額	▲ 9,363	▲ 833	▲ 8,530
有価証券の取得・売却の純額	▲ 4,416	▲ 13,676	+ 9,260
その他の投資活動	▲ 780	▲ 1,350	+ 570
その他の財務活動(*2)	▲ 611	▲ 1,729	+ 1,118
グロス・キャッシュ・フロー	▲ 55,204	▲ 97,328	+ 42,124
配当金の支払額	▲ 14,783	▲ 13,818	▲ 965
自己株式の取得による支出	▲ 10,001	▲ 5	▲ 9,996
換算差額	11,692	4,440	+ 7,252
純有利子負債の増減額	▲ 68,296	▲ 106,711	+ 38,415

(\*1) IFRS第16号に基づく減価償却費調整分を含めていません。

(\*2) IFRS第16号に基づくリース債務返済支出を除いています。

# 純有利子負債

	2020年 6月末	2019年 12月末	(百万円) 前期末差
有利子負債	700,813	623,927	+ 76,886
現金及び現金同等物	422,644	414,055	+ 8,589
純有利子負債	278,168	209,872	+ 68,296
EBITDA(LTM)	168,112	160,280	+ 7,832
純有利子負債 / EBITDA(LTM)	1.65	1.31	
純有利子負債(期中平均)/ EBITDA(LTM)	1.71	1.53	

\* 上記有利子負債は、借入金および社債の合計額です。リース債務（20年6月末115,133百万円 19年12月末133,063百万円）は、含まれていません。

\* 期中平均: 直近四半期末から過去12ヶ月平均です。

\* LTM: Latest twelve months（直近四半期末から過去12ヶ月分）を使用しています。

\* 前年数値はプロフォーマの数値を使用していません。

## まとめ

- **包括的な事業オペレーションと資本効率に関する見直しの開始および改革プランの加速**
  - デジタル・ソリューション、CRM等 高成長領域での長期的かつ構造的な成長機会への注力
  - 合理的なオペレーションによるコスト構造の改革
  - バランスシートの効率改善と長期的な株主価値の最大化
- **一株あたり47.5円の間配当を決定**
  - 長期的な株主価値最大化を目的とした見直しに着手
  - 安定的な配当、段階的な増配方針は上記見直しの対象
  - 期末及び年間配当、並びに長期的な配当方針は、上記見直しの結果に基づいて決定し来年発表予定
- **2020年度業績予想の発表を見送り**
  - 四半期別では、引き続き第2四半期のマイナスのオーガニック成長率が最も大きいと想定し、下期にかけて緩やかな改善を想定
  - 下期も年間削減目標に向けてコストコントロールを継続するが、売上総利益の落ち込みをカバーするには至らない見込み

# 本資料取扱い上の留意点

- 将来に関する記述について
- 本資料は、電通グループに関する「将来に関する記述」またはそれに該当しうるものを含んでおります。本資料に記載される過去の事実以外の記述は将来に関する記述であることがあります。「～を目標としている」、「～を計画している」、「～と考えている」、「～と予想される」、「～を目的としている」、「～する意向である」、「～するつもりである」、「～する可能性がある」、「～が期待される」、「～と見込まれる」、「～と予測する」、及びこれらに類似する意味の単語や言葉、又はそれらの否定文は、将来に関する記述です。将来に関する記述には、(i) 今後の資本支出、費用、収入、利益、シナジー効果、経済動向、負債、財務状況、配当政策、損失及び将来予測、(ii) 事業及び経営戦略、並びに (iii) 電通グループの事業に対する政府規制の影響に関する記述を含みます。
- 将来に関する記述は、期待されている結果に重大な影響を与えうるリスクや不確実性を伴い、一定の重要な前提に基づいています。多くの要因により、実際の結果は、将来に関する記述において想定又は示唆されていたものと著しく異なることがあります。かかる不確実性やリスクに鑑み、本資料を閲覧される方は、その記述が行われた日付け時点における予想でしかない将来に関する記述に過度に依存しないようご注意ください。
- なお、現時点で想定される主なリスクとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。
  - ① 景気変動によるリスク
  - ② 技術革新およびメディアの構造変化によるリスク
  - ③ 財務目標等の未達リスク
  - ④ 取引慣行等に伴うリスク
  - ⑤ 競争によるリスク
  - ⑥ 情報システムへの依存に関するリスク
  - ⑦ 法規制等に関するリスク
  - ⑧ 訴訟等に関するリスク
- 電通グループは、適用法令により義務付けられる場合を除き、本資料に含まれる将来に関する記述又はその他の記述を更新する義務を負うものではありません。
- IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」について  
IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を、18年1月1日より適用しています。本資料においては、過年度についても、IFRS第15号を遡及適用したプロフォーマベースの数字を記載しています。
- IFRS第16号「リース」適用について  
IFRS第16号「リース」を、19年1月1日より適用しています。当社は、本会計基準の遡及適用に伴う累積的影響を、適用開始日に認識（修正遡及アプローチを採用）しており、過年度の業績を、IFRS第16号ベースで修正再表示しておりません。

# Appendices

# 用語の定義

- 売上高: 顧客に対して行った請求額および顧客に対する請求可能額の総額（割引および消費税等の関連する税金を除く）
- 調整後営業利益: 調整後営業利益は、営業利益から、買収行為に関連する損益および一時的要因を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標  
 買収行為に関連する損益：買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、被買収会社に帰属する株式報酬費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用  
 一時的要因の例示：減損、固定資産の売却損益など
- オペレーティング・マージン: 調整後営業利益 ÷ 売上総利益
- 調整後当期利益（親会社所有者帰属分）: 当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、関連会社株式売却損益、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標
- 基本的1株当たり調整後当期利益: 調整後当期利益（親会社所有者帰属分）ベースで計算したEPS
- EBITDA: 営業利益 + 減価償却費 + 償却費 + 減損損失
- 為替影響排除ベース: 当期実績（業績予想）と、前期実績などの比較数値を直近決算為替レートで洗い替えた数値との比較
- 為替変動による影響: 前年実績と、前年実績を直近決算為替レートで洗い替えた数値との差額
- M&Aによる成長: 前年期初から直近決算期末までに実施したM&Aによる影響額（為替変動による影響を調整後、M&A先のオーガニック成長分は控除）
- オーガニック成長: 為替やM&Aの影響を除いた内部成長率。前年期初から直近決算期末までに実施したM&Aについては、当期に連結された月数分は前年同期にも連結されていたと仮定して、M&A先も含めてオーガニック成長を計算

# 連結決算の四半期情報

(百万円)

	2020年 4-6月	前年同期比 (%)	2020年 1-3月	前年同期比 (%)
売上高	932,415	(26.2)	1,194,431	(1.7)
収益	206,344	(16.3)	252,737	+0.9
売上総利益	181,697	(17.9)	227,170	(0.4)
国内事業	74,544	(12.2)	103,715	+2.1
海外事業	107,337	(21.3)	123,210	(2.6)
調整後営業利益	15,509	(15.7)	37,237	+34.9
国内事業	7,773	(26.6)	30,304	+2.7
海外事業	8,884	(7.0)	8,655	-
セントラルコスト等	▲ 1,148	-	▲ 1,722	-
オペレーティング・マージン	8.5%	+0.2	16.4%	+4.3
国内事業	10.4%	(2.0)	29.2%	+0.3
海外事業	8.3%	+1.3	7.0%	+7.1
調整後当期利益	7,945	(11.5)	20,358	+40.3
営業利益	4,051	(39.2)	24,694	+98.8
当期利益	438	-	15,356	-
EBITDA	24,916	(15.0)	48,251	+36.6

\*当期利益・調整後当期利益は、全て親会社所有者帰属分です。

## 四半期オーガニック成長率

	電通グループ連結計 (%)			国内事業 (%)			海外事業計 (%)		
	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1-3月	(0.8)	(1.6)	+2.1	+2.1	(2.7)	+1.9	(3.3)	(0.7)	+2.2
4-6月	(17.3)	(1.3)	+5.9	(12.6)	(1.4)	+8.4	(20.0)	(1.3)	+4.5
7-9月	-	(0.1)	+5.4	-	+1.7	+2.7	-	(1.0)	+7.0
10-12月	-	(1.1)	+0.9	-	+4.0	(3.0)	-	(4.0)	+3.4

	海外事業 – EMEA			海外事業 – Americas			海外事業 – APAC		
	2020	2019	2018	2020	2019	2018	2020	2019	2018
1-3月	(0.4)	(0.4)	+2.7	+1.2	+0.1	+4.6	(19.5)	(3.0)	(2.9)
4-6月	(20.2)	+0.7	+4.8	(17.1)	+2.8	+6.5	(26.4)	(12.3)	+0.8
7-9月	-	(1.0)	+8.2	-	+5.0	+5.3	-	(12.3)	+8.2
10-12月	-	(1.8)	+12.0	-	+1.5	+3.5	-	(17.9)	(9.6)

# 主要マーケット別 オーガニック成長率

2020年1-6月 オーガニック成長率

マーケット

0%以上

ドイツ、スイス、ロシア

-10%以上 ~ 0%未満

イタリア、スウェーデン、デンマーク、日本、米国

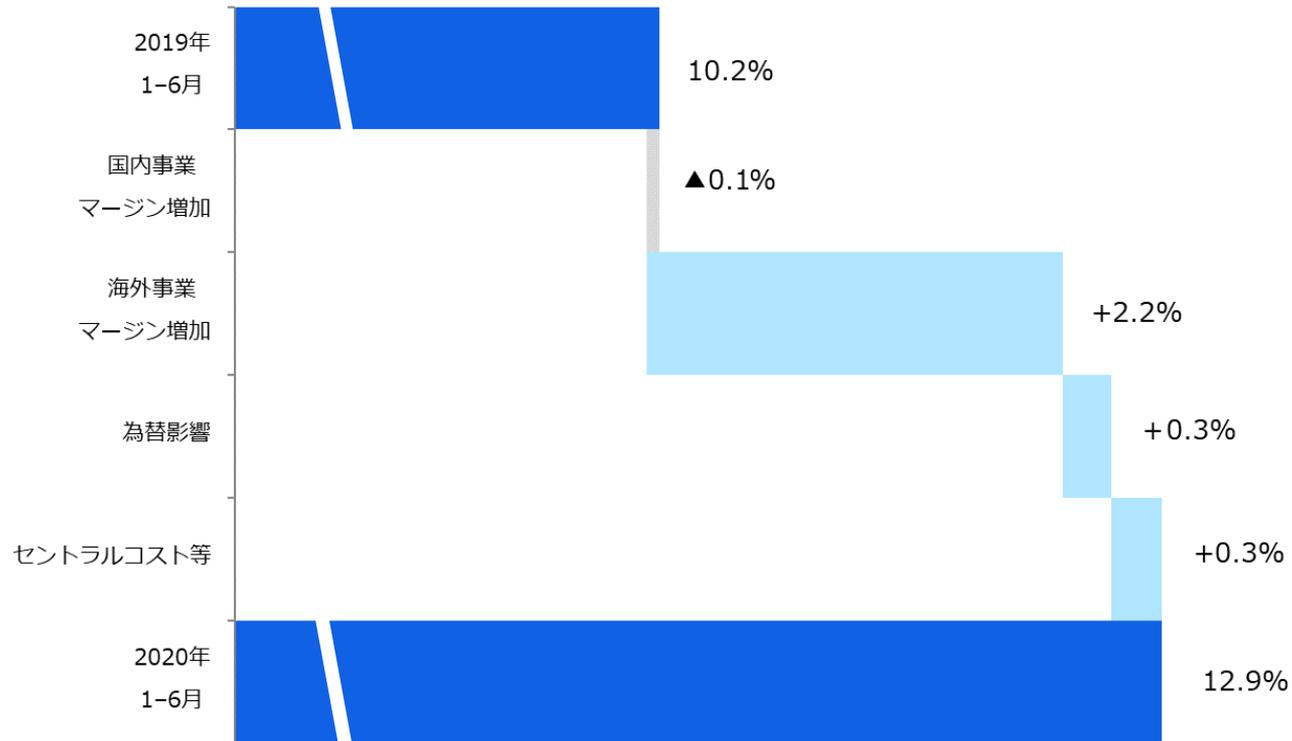
-20%以上 ~ -10%未満

英国、台湾、ノルウェー、ポーランド

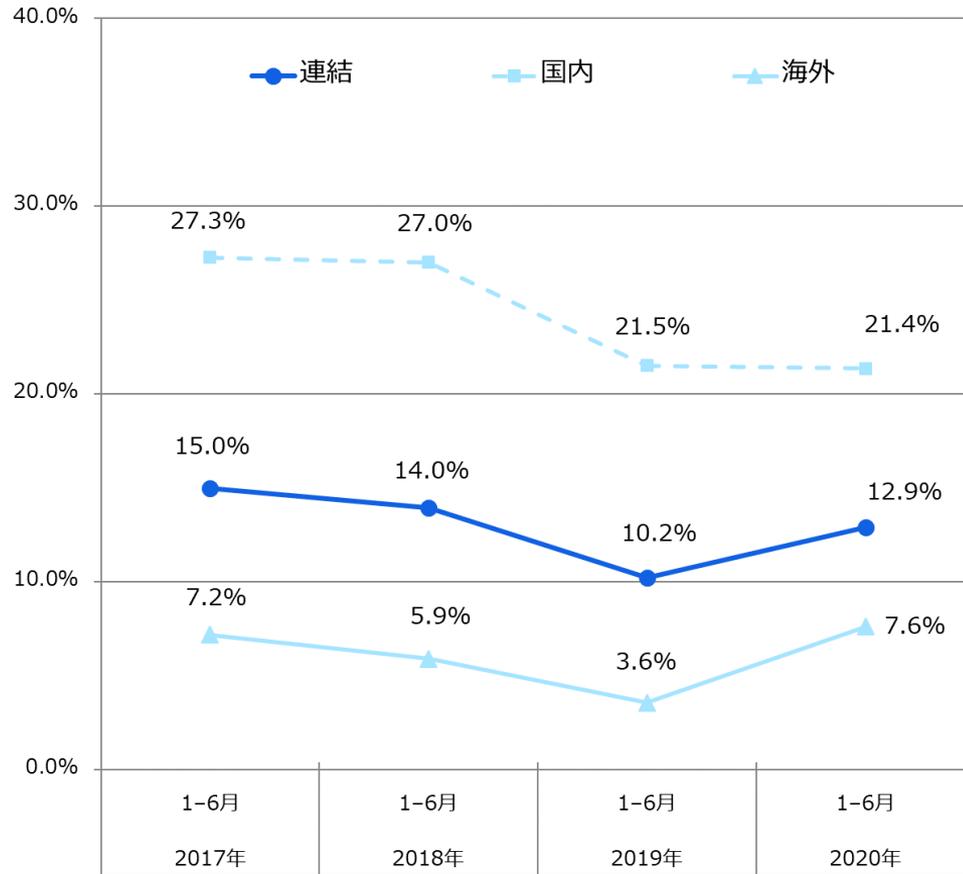
-20%未満

インド、オランダ、カナダ、豪州、スペイン、タイ、中国、フランス、ブラジル

# オペレーティング・マージンの変動要因



# オペレーティング・マージン推移



# 当期利益 調整項目

	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期差	(百万円) 前年同期比 (%)
調整後当期利益	28,304	23,498	+4,806	+20.5
調整項目	▲12,509	▲24,139	+11,630	
営業利益調整項目	▲24,001	▲26,921	+2,919	
アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益	+10,521	▲8,069	+18,590	
持分法による減損損失	▲436	-	▲436	
関連会社株式売却益	+5	-	+5	
段階取得に係る再測定による利益	+44	-	+44	
関連する税金影響	+960	+9,138	▲8,178	
非支配持分帰属分	+397	+1,713	▲1,315	
当期利益（損失）	15,795	▲641	+16,436	-

\*営業利益調整項目は「営業利益調整項目」をご参照ください。

\*調整後当期利益・当期利益は、全て親会社所有者帰属分です。

# 連結財政状態計算書

	2020年 6月末	2019年 12月末	前期末差	(百万円) 前期末比 (%)
のれん	721,245	754,796	▲ 33,551	(4.4)
無形資産	224,767	245,517	▲ 20,750	(8.5)
有形固定資産 (リース負債相殺後)	177,404	182,053	▲ 4,649	(2.6)
投資有価証券	332,802	381,737	▲ 48,935	(12.8)
純運転資本	▲ 1,177	▲ 51,633	+ 50,456	(97.7)
純有利子負債	▲ 278,168	▲ 209,872	▲ 68,296	+32.5
買収関連負債	▲ 188,041	▲ 208,958	+ 20,917	(10.0)
その他	▲ 22,257	▲ 41,106	+ 18,850	(45.9)
<b>純資産</b>	<b>966,575</b>	<b>1,052,533</b>	<b>▲ 85,958</b>	<b>(8.2)</b>
親会社の所有者持分	909,847	974,977	▲ 65,130	(6.7)
非支配持分	56,728	77,556	▲ 20,828	(26.9)
為替				
円/USD	107.7円	109.6円	-	(1.7)
円/GBP	132.5円	143.5円	-	(7.6)

## 国内事業 業務区分別売上高の状況 (IFRSベース)

(百万円)

	2020年 1-6月	前年同期比 (%)	4-6月	前年同期比 (%)	1-3月	前年同期比 (%)
新聞	30,236	(21.2)	11,447	(23.6)	18,788	(19.6)
雑誌	7,029	(23.2)	2,726	(35.1)	4,302	(13.2)
ラジオ	6,576	(10.1)	2,922	(15.6)	3,653	(5.1)
テレビ	300,461	(11.9)	130,368	(21.6)	170,093	(2.8)
インターネット*1	115,238	(4.9)	49,377	(7.7)	65,861	(2.7)
OOHメディア	21,728	(19.5)	7,627	(41.2)	14,100	+0.5
クリエイティブ	89,208	(14.9)	31,785	(34.4)	57,423	+1.8
マーケティング/プロモーション	155,474	+23.8	76,308	+20.0	79,165	+27.8
コンテンツサービス(日本基準) *2	121,864	(1.8)	20,947	(27.1)	100,916	+5.9
その他	72,684	(2.4)	34,310	(6.3)	38,373	+1.3
連結調整等*3	▲ 36,156	-	16,838	-	▲ 52,995	-
マスメディアに含まれるインターネット*4	▲ 3,225	-	▲ 1,198	-	▲ 2,027	-
合計	881,120	(6.4)	383,463	(14.4)	497,657	+0.9

\*1 インターネット(旧集計)に加え、マスメディアに含まれるインターネット広告売上(20年1-6月:3,225百万円)を加算し、重複計上した数値です。

\*2 IFRSベースでは、日本基準と売上計上のタイミングに差があります。上表\*2では日本基準を記載し、IFRSベースとの差額は「連結調整等」で調整しています。

\*3 海外グループへの売上や、会計基準の違いによる調整等を含みます。

\*4 「インターネット」と各マスメディアで重複計上された数値です。

## 国内事業 デジタル領域実績 (IFRSベース)

	(百万円)	
	2020年 1-6月	前年同期比 (%)
デジタル領域売上高	198,608	+0.1
デジタル領域売上総利益	57,436	+8.1
デジタル領域売上総利益:		
国内事業に占めるデジタル領域構成比*1	32.2%	+3.7

\*1 デジタル領域：インターネット・データ関連マーケティングサービスおよびITシステムの受託開発・販売等の数値です。

# (株)電通業種別売上高の状況 (日本基準)

	2020年		前年同期比		(百万円)	
	1-6月	前年同期比 (%)	4-6月	前年同期比 (%)	1-3月	前年同期比 (%)
情報・通信	92,919	(7.1)	27,904	(29.9)	65,014	+7.9
官公庁・団体	87,314	+99.9	53,936	+123.3	33,378	+71.0
金融・保険	71,243	(14.8)	22,951	(28.7)	48,292	(6.1)
飲料・嗜好品	64,566	(17.0)	29,292	(24.7)	35,274	(9.3)
化粧品・トイレットリー	53,109	(19.4)	27,980	(25.8)	25,129	(10.8)
外食・各種サービス	49,122	+1.7	14,309	(30.0)	34,813	+24.9
食品	48,797	(14.1)	20,731	(23.6)	28,066	(5.4)
交通・レジャー	36,319	(10.9)	10,764	(31.6)	25,554	+2.1
自動車・関連品	34,741	(13.0)	10,530	(29.1)	24,211	(3.5)
不動産・住宅設備	31,759	(6.4)	8,176	(27.9)	23,582	+4.4
流通・小売業	29,481	(17.3)	12,598	(30.0)	16,882	(4.2)
薬品・医療用品	28,464	(10.9)	13,059	(14.9)	15,404	(7.1)
エネルギー・素材・機械	22,034	+6.3	5,834	(14.7)	16,200	+16.6
家電・A V機器	17,755	+3.3	4,843	(19.9)	12,912	+15.8
ファッション・アクセサリ	17,461	+3.4	7,079	(2.5)	10,381	+7.8
その他	58,721	(15.9)	22,742	(19.8)	35,978	(13.2)
合計	743,814	(5.0)	292,736	(14.9)	451,077	+2.8

## 為替関連データ

	期中平均レート			期末日レート		
	2020年 1-6月	2019年 1-6月	前年同期比 (%)	2020年 6月末	2019年 12月末	前期末比 (%)
円/USD	108.3円	110.0円	(1.6)	107.7円	109.6円	(1.7)
円/EUR	119.3円	124.3円	(4.0)	121.1円	122.5円	(1.2)
円/中国元	15.4円	16.2円	(5.0)	15.2円	15.7円	(2.8)
円/GBP	136.6円	142.4円	(4.1)	132.5円	143.5円	(7.6)
円/AUD	71.2円	77.7円	(8.4)	73.9円	76.5円	(3.5)

### 売上総利益に占める主要通貨の割合

	円	USD	EUR	GBP	中国元	AUD	その他	合計
2020年 1-6月	43.6	23.7	8.6	5.3	2.6	1.9	14.3	100.0